

小規模多機能型住宅介護「2025年度サービス評価」 総括表

法人名	協同福祉会	代表者	東浦 秀己	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で、安心して元気に暮らすことを支援します。まわりにはたくさんの緑・木々もあり、自然に囲まれた環境の良い施設です。 あすならでは「10の基本ケア」を実践する事で、利用者に「普通の暮らし」を取り戻してほしいと考えており、お年寄りを寝たきりにさせない介護へ繋げています。					
事業所名	あすならホーム櫻本	管理者	森川 剛志							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	13人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	多機能の職員全員が事業所評価に参加する。 引き続き、座って会話をする等で利用者さんに寄り添いながら支えることを行います。	多機能の日勤の職員は全員、意見を出してもらうことが出来た。 利用者さんに寄り添った関わりは出来ているが、座って会話をするではゆっくりと座って会話をする時間があまりとれていない。	現状が良くわかる自己評価の内容になっていました。 忙しい中情報を共有すること等大変だと思いますが、利用者さんに寄り添って頂いていると感じます。	・多機能の（夜勤者含めて）全職員が事業所評価に参加します。 ・事業所評価の目標、サービス評価の統括表の改善計画を職員一人一人が理解し、取り組みを行なっていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	SNSで施設の取り組みを定期的に発信しています。 色々な方が施設に来られた時、入りやすいように雰囲気や環境を整えていきます。	SNSでの発信はまだまだ弱い部分があるが、その中で各部署の担当者を決め、担当者が話し合う機会を作っている。 玄関等は意識的に掃除等を行ない綺麗にしている。	玄関や事業所内もとてもきれいにされていると地域の方から伺っています。 個人的には、入りやすい雰囲気の事業所だと思います。	・職員一人一人が意識を持ち、施設に来られた方に親しみやすい雰囲気で接し、また来たいと思って頂けるようにしていきます ・玄関や外から見れる部分は特にきれいに保ち、入りやすい環境を整えます。
C. 事業所と地域のかかわり	定期的な学習会は継続しています。また、月6回のサロンも継続していきます。 地域への発信を今まで以上に行い、サロンの人数を増やします。また、買い物バスも再開していきます。	今年も春・秋と計6回の地域学習会を実施することが出来た。サロンも継続して実施できている。 買い物バスを今年度再開することが出来た。 地域への発信はまだ弱く、参加者の増加へ繋がっていない。	地域のイベントにあまり参加できていないという自己評価であったが、今出来ていることは継続し、さらに多くのイベントに参加して地域とのかかわりが増えることを期待しています。 サロンは楽しそうな雰囲気が伺えます。	・サロン月6回、買い物バス月3回、春・秋の地域学習会を継続して行ないます。 ・サロン、買い物バスの実施を多くの方に知って頂けるように地域の発信を強化していき、参加者を増やします。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域で行われる行事は、出来る限り利用者さんと一緒に参加していきます。 また、この地域でどのような行事が行われているか情報収集にも力を入れます。	地域のお祭りの準備を手伝ったり、一部の行事は参加できたが、多くの行事に参加できていない。 RUN伴には今年も利用者と一緒に参加することが出来た。 サロン等で地域の方から情報を収集していた。	利用者さんと一緒に地域イベント(RUN伴等)に参加されていり、気になる方には積極的に声かけをしていると思います。 地域生活者として利用者さんの視点を大切に本人の暮らしを支えて頂けたらと思います。	・今年参加した行事は来年も参加し、また新たな行事も積極的に参加していきます。 ・地域でどのような行事が行われているか情報収集にも力を入れます。

E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>利用者の家族や地域の方に呼びかけを行い、参加者を増やす取り組みを行います。</p> <p>会議では、小規模多機能をより知つても頂けるように努力を継続します。</p>	<p>地域の方や家族さんへの呼びかけがあまり出来ておらず、参加者を増やすことができていない。</p> <p>会議の中で利用者の情報や地域の方の意見を聞くことが出来ている。</p>	<p>会議では楽しい雰囲気の中、分かりやすく説明して頂いています。気になる方等の情報も教えて頂き、情報共有の場になっていると思います。</p> <p>地域の様々な立場の方が参加にして頂けると多くの情報を知る機会やたくさんの意見交換ができると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の家族や地域の方に呼びかけを行い、参加者を増やす取り組みを行います。 参加者を増やすことで、情報収集や意見交換を活発に行ない、より良い施設運営が出来るようにしていきます。
F. 事業所の防災・災害対策	<p>サロンの日に防災訓練を行い、地域の方も一緒に参加できるようになります。</p> <p>地域の防災訓練がある時は、事業所として参加できるように働きかけを行います。</p>	<p>火災避難訓練は2回、水害訓練、地震訓練は各1回実施することが出来ている。地域の方と一緒に行なうことは出来ていない。</p> <p>地域の防災訓練が樫本地域では、あまり行っておらず（情報がない）、参加できていない。</p>	<p>毎年、積極的に防災訓練をされていると感じます。</p> <p>災害時には事業者は地域の方から頼りにされる所だと思います。地域の力で役に立てる所は積極的にお手伝いしたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水害訓練。地震訓練・火災避難訓練は継続して行ない、火災避難訓練を地域の方と一緒に出来るようにサロンの日に行なう等の工夫をします。 地域の防災訓練は情報収集を行ない、実施される時には、一緒に参加します。

